



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月29日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 4463 URL https://www.nicca.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 2021年9月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	24,100	22.0	1,413	315.8	1,596	239.0	1,583	801.5
2020年12月期第2四半期	19,753	△16.5	339	△55.9	470	△30.9	175	△46.6

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 2,863百万円 (-%) 2020年12月期第2四半期 △265百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	100.59	—
2020年12月期第2四半期	11.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	52,752	25,750	44.7	1,498.50
2020年12月期	53,175	23,166	39.5	1,335.60

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 23,605百万円 2020年12月期 21,019百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	4.00	—	6.00	10.00
2021年12月期	—	8.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	12.9	2,200	55.3	2,300	39.8	1,900	81.9	120.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	17,710,000株	2020年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	1,957,380株	2020年12月期	1,972,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	1,967,563株	2020年12月期 2 Q	15,724,454株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心とした一部の業種で改善が見られたものの、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言実施期間が長期間におよび、経済活動が制限される状況が継続しております。また、世界各国の経済は新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいる地域で景気回復の兆しがみられましたが、引き続きコロナ禍が拡大している地域もあり、国内外ともに依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、永続的成長に向けて2025年までの全社基本ビジョンを「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー」と掲げ、3つの経営軸（「Innovation」「Efficiency」「Sustainability」）のもと、激変する経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力することで、着実に成長を遂げる真に強い企業集団へと生まれ変わるため、新たな5か年中期経営計画『INNOVATION25』（2021-2025）を掲げ、5つの全社基本戦略（「事業構造の大転換」「生産性改革」「財務基盤の強化」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」）に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は24,100百万円（前年同期比22.0%増）、営業利益1,413百万円（同315.8%増）、経常利益1,596百万円（同239.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,583百万円（同801.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

## (化学品事業)

売上高は16,665百万円（前年同期比19.0%増）、セグメント利益は908百万円（同139.9%増）となりました。

コロナ禍の影響が継続しているものの、一般的に流通在庫の積み上げ等による需要回復が見られるとともに、特殊樹脂モノマー、環境衛生関連薬剤やフッ素化成品が堅調に推移しました。また、アジア通貨に対する円安の影響もあり売上高は増加しました。

このような状況の中、昨年から実施している経費抑制の継続、一昨年実施した設備投資の減価償却費減少により、セグメント利益は増加しました。

## (化粧品事業)

売上高は7,283百万円（前年同期比33.7%増）、セグメント利益は1,443百万円（同80.1%増）となりました。

当社デミ コスメティクスにおいては、度重なる緊急事態宣言による市況悪化の影響を受けたものの、主力ヘアケアブランドの拡販等により堅調に推移いたしました。山田製薬株式会社においては、大口受託案件の新商品増産に加えて新規顧客の獲得増により好調に推移しました。その結果、化粧品セグメント全体では売上高及びセグメント利益ともに増加しました。

## (その他)

売上高は150百万円（前年同期比49.8%減）、セグメント利益は40百万円（同102.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、422百万円減少し52,752百万円となりました。この主な要因は、原材料及び貯蔵品が674百万円増加した一方、現金及び預金が448百万円、機械装置及び運搬具が330百万円及び受取手形及び売掛金が321百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、3,006百万円減少し27,002百万円となりました。この主な要因は、借入金金が2,808百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,584百万円増加し25,750百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が1,489百万円、為替換算調整勘定が826百万円及びその他有価証券評価差額金が225百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ713百万円減少し、6,476百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは2,061百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,122百万円、減価償却費1,241百万円等の収入と、固定資産処分損益589百万円、法人税等の支払額471百万円等の支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出したキャッシュ・フローは25百万円となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入799百万円、定期預金の払戻による収入496百万円等の収入と、定期預金の預入による支出731百万円、有形固定資産の取得による支出561百万円等の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出したキャッシュ・フローは3,066百万円となりました。これは主に、借入金の返済による支出（純額）2,777百万円、非支配株主への配当金の支払額198百万円等の支出によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年2月12日に公表いたしました業績予想から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ修正を行っております。

詳細につきましては、2021年7月29日公表の「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,962	7,514
受取手形及び売掛金	9,026	8,705
商品及び製品	4,224	4,203
仕掛品	735	634
原材料及び貯蔵品	3,066	3,741
その他	963	964
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	25,977	25,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,607	13,485
機械装置及び運搬具（純額）	4,033	3,702
土地	5,261	5,190
その他（純額）	824	879
有形固定資産合計	23,726	23,258
無形固定資産		
その他	304	284
無形固定資産合計	304	284
投資その他の資産		
その他	3,167	3,448
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,166	3,448
固定資産合計	27,197	26,991
資産合計	53,175	52,752

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,325	5,173
短期借入金	8,033	6,370
未払法人税等	357	489
賞与引当金	556	610
その他	3,088	2,820
流動負債合計	17,361	15,464
固定負債		
長期借入金	8,267	7,122
退職給付に係る負債	3,223	3,243
株式報酬引当金	75	91
その他	1,081	1,080
固定負債合計	12,647	11,537
負債合計	30,009	27,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,928	2,928
利益剰余金	16,909	18,398
自己株式	△1,465	△1,452
株主資本合計	21,271	22,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	365	591
為替換算調整勘定	△308	518
退職給付に係る調整累計額	△309	△277
その他の包括利益累計額合計	△251	832
非支配株主持分	2,146	2,144
純資産合計	23,166	25,750
負債純資産合計	53,175	52,752

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	19,753	24,100
売上原価	13,303	16,014
売上総利益	6,449	8,085
販売費及び一般管理費	6,109	6,672
営業利益	339	1,413
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	14	10
持分法による投資利益	8	3
為替差益	—	93
助成金収入	18	—
雇用調整助成金	91	—
債務免除益	—	63
その他	124	84
営業外収益合計	276	275
営業外費用		
支払利息	37	24
為替差損	9	—
売上割引	36	38
その他	61	29
営業外費用合計	145	92
経常利益	470	1,596
特別利益		
固定資産売却益	3	595
投資有価証券売却益	10	—
補助金収入	33	—
特別利益合計	48	595
特別損失		
固定資産除却損	1	1
固定資産売却損	0	4
投資有価証券評価損	1	63
特別損失合計	3	69
税金等調整前四半期純利益	515	2,122
法人税等	287	460
四半期純利益	227	1,661
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	175	1,583



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	227	1,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	225
為替換算調整勘定	△439	944
退職給付に係る調整額	39	31
その他の包括利益合計	△493	1,202
四半期包括利益	△265	2,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△256	2,667
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	196

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	515	2,122
減価償却費	1,337	1,241
のれん償却額	2	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	57	49
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	8	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	△238	97
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
投資有価証券評価損益(△は益)	1	63
受取利息及び受取配当金	△33	△30
支払利息	37	24
為替差損益(△は益)	8	△5
持分法による投資損益(△は益)	△8	△3
固定資産処分損益(△は益)	△1	△589
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	—
債務免除益	—	△63
補助金収入	△33	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,804	595
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78	△351
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,478	△332
未払消費税等の増減額(△は減少)	167	△367
その他	△488	27
小計	1,570	2,495
利息及び配当金の受取額	32	61
利息の支払額	△38	△24
法人税等の支払額	△218	△471
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,346	2,061
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△226	△731
定期預金の払戻による収入	116	496
有形固定資産の取得による支出	△820	△561
有形固定資産の売却による収入	72	799
投資有価証券の取得による支出	△8	△4
投資有価証券の売却による収入	21	3
補助金の受取額	33	—
その他	△0	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△811	△25
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	39,935	43,097
短期借入金の返済による支出	△39,437	△44,621
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9	△9
長期借入れによる収入	1,564	—
長期借入金の返済による支出	△1,362	△1,254
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△44	—
配当金の支払額	△126	△94
非支配株主への配当金の支払額	△138	△198
自己株式の売却による収入	8	13
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	389	△3,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	316
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	795	△713
現金及び現金同等物の期首残高	5,931	7,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,727	6,476

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

（会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,004	5,449	19,453	300	19,753
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	7	7	86	94
計	14,004	5,456	19,460	386	19,847
セグメント利益	378	801	1,179	19	1,199

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,179
「その他」の区分の利益	19
セグメント間取引消去	29
全社費用（注）	△889
四半期連結損益計算書の営業利益	339

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,665	7,283	23,949	150	24,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28	28	152	181
計	16,665	7,312	23,977	303	24,281
セグメント利益	908	1,443	2,351	40	2,391

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,351
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	△26
全社費用（注）	△952
四半期連結損益計算書の営業利益	1,413

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。